

#### 4 哺乳類痕跡調査（加瀬澤）

哺乳類の食性を知ることは、自然と人が持続的に共存していくための手がかりになると考え、フンの中に見られる未消化物（植物の種子や動物）を特定する調査をしています。

次の表は、平成22年から継続している雑食性哺乳類の中で四季を通してフンを確認しやすいタヌキとテンの調査結果を更新するもので、新たに追加したものを赤字で示しています（調査の詳細は、過去の年度活動報告書に掲載しています）。

##### ○ タヌキ

春	キイチゴ属 ケンポナシ ヤマザクラ 哺乳類
夏	キイチゴ属 クワ属 ヒメコウソ ヤマザクラ クマヤナギ属 昆虫類 哺乳類
秋	アオハダ アケビ属 イチョウ イヌガヤ エノキ カキノキ属 ケンポナシ クサボケ コナラ属 ジャノヒゲ ビワ ミズキ ヤブラン 昆虫類 哺乳類
冬	イチョウ イヌツゲ エノキ カキノキ属 フユイチゴ キブシ クサボケ ケンポナシ コナラ属 ジャノヒゲ ヒサカキ フジ ヘクソカズラ マタタビ属 マンリョウ ムクノキ ヤブラン 甲殻類 昆虫類 鳥類 哺乳類

##### ○ テン

春	キイチゴ属 キブシ ヤマザクラ 哺乳類
夏	アオハダ ウグイスカグラ ウワミズザクラ クマヤナギ属 キイチゴ属 キブシ クワ属 ナツハゼ ヒメコウソ マタタビ属 ミズキ ヤマザクラ ヤマボウシ 昆虫類 哺乳類
秋	アケビ属 カキノキ属 キブシ クスノキ属 ケンポナシ コナラ属 ゴンズイ ジャノヒゲ ナス属 バラ科 マタタビ属 ムクノキ ヤブラン ヤマブドウ 昆虫類 哺乳類
冬	イヌツゲ エノキ カキノキ属 ガマズミ フユイチゴ キブシ クサボケ ケンポナシ ジャノヒゲ ニシキギ属 ツルウメモドキ バラ科 ヒサカキ ビワ マタタビ属 ムクノキ ヤブラン ヤマブドウ 昆虫類 哺乳類

※ 春（3月から5月）、夏（6月から8月）、秋（9月から11月）、冬（12月から2月）

- 雑食性哺乳類（タヌキとテン以外の哺乳類も含む）が利用する実の暦  
 果実の旬の時期だけではなく、哺乳類の痕跡（フン、食痕）として確認した時期も含まれています。

※葉や花の採食を確認した時期…桃色

No.	科、属、種名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1	ゴンズイ												
2	オトコヨウゾメ												
3	ガマズミ												
4	エノキ												
5	カキノキ属												
6	ムクノキ												
7	バラ科												
8	イヌツゲ												
9	クサボケ												
10	ツルウメモドキ												
11	フジ												
12	フユイチゴ												
13	ミヤマフユイチゴ												
14	ヘクソカズラ												
15	マタタビ属												
16	ヤマブドウ												
17	キブシ												
18	ケンボナシ												
19	ジャノヒゲ												
20	ヒサカキ												
21	ヤブラン												
22	アオキ												
23	タケノコ(マダケ、孟宗竹)												
24	マンリョウ												
25	ヒノキ科												
26	ウミズザクラ												
27	ウグイスカグラ												
28	ヤマザクラ												
29	ビワ												
30	グミ属												
31	クワ属												
32	クサイチゴ												
33	クマイチゴ												
34	ナガバモミジイチゴ												
35	モミジイチゴ												
36	ニセアカシア												
37	ニガイチゴ												
38	カスミザクラ												
39	ヒメコウゾ												
40	ハナモモ												
41	ナワシロイチゴ												
42	エビガライチゴ												
43	クマヤナギ属												
44	ハナйкаダ												
45	オニグルミ												
46	ヤマボウシ												
47	アオハダ												
48	ナツハゼ												
49	ミズキ												
50	イヌガヤ												
51	クリ属												
52	タカノツメ												
53	ツノハシバミ												
54	ヤマナシ												
55	アカマツ												
56	アケビ属												
57	カヤ												
58	コナラ属												
59	ブナ												
60	コクサギ												
61	イチョウ												
62	クスノキ属												
63	ニシキギ属												
64	ナス属												
65	ユズ												

## ○ まとめ

調査の結果から、野生動物が利用する果実の種数は3月から5月と、7月から8月の間で減少していることが分かっています。本市の鳥獣による農業被害は、3月、7月の果実の種数が減少する時期と10月の野生動物が越冬するために多くの食物を必要とする時期に増加しています。

このため、地域の暮らしを守り、生物多様性を守り育てていくためには人との軋轢を生んでいる野生動物が利用する果実の減少時期を周知し、3月から5月、7月から8月、そして10月には特に野生動物を人里へ誘引しないように人家付近の果実や農作物を管理・収穫することなどがが必要です。また、人家付近に野生動物が利用する果実のなる樹木の植栽を控える・伐採する、野生動物の生息する森林や周辺で人工林を伐採する際には、果実のなる樹木を残す・植栽することなどが、持続的に野生動物が生息していく森を育むために望ましい対策であると考えます。



「サルがカキを食べた痕」

他にもクリ、オニグルミ、キウイフルーツ、ユズなどを食べた野生動物の食痕を確認します。人家付近の果実は収穫しましょう。



「ツキノワグマのフン（ヤマボウシの種子）」

令和3年は奥山でヤマボウシの果実が豊作でした。庭木として植栽されるヤマボウシは、森では野生動物にとって果実が少なくなる8月の重要な食物となっているため、人家付近の植栽には適していません。



←「ウワミズザクラの花」

果実が一番少ない4月から5月に開花します。サルが花を採食していました。8月に実る果実も野生動物に人気です。

#### 4 植物調査（加瀬澤）

哺乳類痕跡調査で、植物の種子を特定する目的以外に植物調査も併せて行っています。その結果、これまで市内全域で確認した植物種数は約800種となり、その中で絶滅危惧種数（準絶滅危惧種と情報不足を含む）は126種となっています（環境省と本土部でランク内の種を含む）。

〈カテゴリー区分と基本概念〉※『東京都レッドデータブック』より抜粋

カテゴリー名称	表示	基本概念
絶滅危惧Ⅰ類	CR+EN	現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、野生での存在が困難なもの
絶滅危惧ⅠA類	CR	ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの
絶滅危惧ⅠB類	EN	ⅠA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
絶滅危惧Ⅱ類	VU	現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧Ⅰ類」のランクに移行することが確実と考えられるもの
準絶滅危惧	NT	現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位ランクに移行する要素を有するもの
情報不足	DD	環境条件の変化によって、容易に絶滅危惧のカテゴリーに移行し得る属性を有しているが、生息状況をはじめとして、ランクを判定するに足る情報が得られていないもの

〈これまで確認した植物の絶滅危惧種の一覧(準絶滅危惧種と情報不足を含む)〉

No.	科名	和名	学名	指定ランク		
				市	東京都	環境省
1	イワヒバ	タチクラマゴケ	<i>Selaginella nipponica</i>	VU	VU	
2	ゼンマイ	ヤシャゼンマイ ※	<i>Osmunda lancea</i>	VU	VU	
3	ウラジロ	ウラジロ	<i>Diplazium glaucum</i>	NT	NT	
4	ホングウシダ	ホラシノブ	<i>Odontosoria chinensis</i>	CR	CR(EN)	
5	チャセンシダ	クモノスシダ	<i>Asplenium ruprechtii</i>	VU	(NT)	
6	シシガシラ	シシガシラ	<i>Blechnum niponicum</i>		(NT)	
7	オシダ	メヤブソテツ	<i>Cyrtomium caryotideum</i>	VU	VU	
8		アイアスカイノテ	<i>Polystichum longifrons</i>		(VU)	
9	ウラボシ	クリハラシ	<i>Neolepisorus ensatus</i>	CR	CR	
10	スイレン	コウホネ	<i>Nuphar japonica</i>	VU	VU	
11	クスノキ	カゴノキ	<i>Litsea coreana</i>	VU	VU	
12	ショウブ	ショウブ	<i>Acorus calamus</i>	NT	NT	
13	シュロソウ	エンレイソウ	<i>Trillium apetalon</i>	VU		
14	ユリ	アマナ	<i>Amana edulis</i>	NT	NT(VU)	
15		カタクリ	<i>Erythronium japonicum</i>	NT	NT(VU)	
16		キバナノアマナ	<i>Gagea nakaiana</i>	EN	EN	
17		ヤマジノホトトギス	<i>Tricyrtis affinis</i>		(NT)	
18		ホトトギス	<i>Tricyrtis hirta</i>	NT	NT(VU)	
19		タマガウホトトギス	<i>Tricyrtis latifolia</i>	VU	VU	
20	ラン	エビネ	<i>Calanthe discolor</i>	VU	VU(NT)	NT
21		ギンラン	<i>Cephalanthera erecta</i>	EN	EN	
22		キンラン	<i>Cephalanthera falcata</i>	NT	NT	NT
23		ササバギンラン	<i>Cephalanthera longibracteata</i>	NT	NT	
24		セッコク	<i>Dendrobium moniliforme</i>		EN(VU)	
25		エソスズラン ※	<i>Epipactis papillosa</i>	VU	VU	
26		タシロラン	<i>Epipogium roseum</i>			NT
27		ヘニシユラン	<i>Goodyera biflora</i>	CR	CR(EN)	
28		ミヤマウスラ	<i>Goodyera schlechtendaliana</i>	NT	NT	
29		ハクウンラン	<i>Kuhlhasseltia nakaiana</i>	CR	CR	
30		トサノクロムヨウラン ※	<i>Lecanorchis nigricans</i> var. <i>patipetala</i>	EN	EN(VU)	
31		ジカバチソウ	<i>Liparis krameri</i>	VU	VU	
32		クモキリソウ	<i>Liparis kumokiri</i>	NT	NT(VU)	
33		ツレサギソウ	<i>Platanthera japonica</i>	CR	CR	
34		トンボソウ	<i>Platanthera ussuriensis</i>	VU	VU	
35		カヤラン	<i>Thrixspermum japonicum</i>	NT	NT	
36	ワスレグサ	ゼンテイカ	<i>Hemerocallis middendorffii</i> var. <i>esculenta</i>	VU	VU	
37		ノカンゾウ	<i>Hemerocallis fulva</i> var. <i>disticha</i>	NT	NT	
38	ヒガンバナ	キツネノカミソリ	<i>Lycoris sanguinea</i>	NT	NT(VU)	
39	クサシギカズラ	ユキザサ	<i>Maianthemum japonicum</i>		NT(VU)	
40		オオナルコユリ	<i>Polygonatum macranthum</i>	EN	EN	
41	イネ	アスマザサ	<i>Sasaella ramosa</i>		(NT)	
42	ケシ	ヤマフキノソウ	<i>Hylomecon japonica</i>	VU	VU(CR)	
43	メギ	ルイヨウボタン	<i>Caulophyllum robustum</i>		VU	
44		イカリソウ	<i>Epimedium grandiflorum</i> var. <i>thunbergianum</i>	VU	VU	
45	キンボウゲ	フクジュソウ	<i>Adonis ramosa</i>	EN	EN	
46		ニリンソウ	<i>Anemone flaccida</i>		(NT)	
47		イチリンソウ	<i>Anemone nikoensis</i>	NT	NT	
48		ククザキイチゲ	<i>Anemone pseudoaltaica</i>	CR	CR(EN)	
49		アズマイチゲ	<i>Anemone raddeana</i>	VU	VU	
50		サラシナショウマ	<i>Cimicifuga simplex</i>		(VU)	
51	ツゲ	ツゲ	<i>Buxus microphylla</i> var. <i>japonica</i>	EN	EN	
52	ボタン	ヤマシャクヤク	<i>Paeonia japonica</i>	EN	EN	NT
53	ユキノシタ	チダケサシ	<i>Astilbe microphylla</i>		(NT)	
54		ネコノメソウ	<i>Chrysosplenium grayanum</i>		(NT)	
55		ヤマネコノメソウ	<i>Chrysosplenium japonicum</i>		(VU)	
56		ダイモンジソウ	<i>Saxifraga fortunei</i> var. <i>alpina</i>	VU	VU	

No.	科名	和名	学名	ランク		
				市	東京都	環境省
57	マメ	キハギ	<i>Lespedeza buergeri</i>		(VU)	
58	ヒメハギ	ヒメハギ	<i>Polygala japonica</i>	NT	NT(VU)	
59	バラ	リンボク	<i>Laurocerasus spinulosa</i>	EN	EN	
60		エビガライチゴ	<i>Rubus phoenicolasius</i>	NT	NT(VU)	
61	ニレ	ハルニレ	<i>Ulmus davidiana</i> var. <i>japonica</i>	NT	NT	
62	イラクサ	カテンソウ	<i>Nanoclide japonica</i>		(VU)	
63	ブナ	ブナ	<i>Fagus crenata</i>	VU		
64	カバノキ	ハンノキ	<i>Alnus japonica</i>	CR	NT(VU)	
65		ミスメ(ヨグソミネバリ)	<i>Betula grossa</i>	NT	NT	
66		ウダイカンバ	<i>Betula maximowicziana</i>	NT	NT(VU)	
67		シラカンバ(シラカバ)	<i>Betula platyphylla</i> var. <i>japonica</i>	NT	NT	
68	カタバミ	カントウミヤマカタバミ	<i>Oxalis nipponica</i> subsp. <i>kantoensis</i> var. <i>kantoensis</i>		(NT)	
69	スミレ	フモトスミレ	<i>Viola sieboldii</i>	NT	NT(VU)	
70		シハイスミレ	<i>Viola violacea</i>	NT	NT	
71	ヤナギ	イイギリ	<i>Ilex polycarpa</i>	NT		
72		シバヤナギ	<i>Salix japonica</i>	VU	VU	
73	ミソハギ	ヒシ	<i>Trapa jeholensis</i>	CR	CR	
74	アカバナ	ウシタキシソウ	<i>Circaea cordata</i>	VU	VU	
75	ミカン	オオバキハダ	<i>Phellodendron amurense</i> var. <i>japonicum</i>	VU	VU	
76		フユザンショウ	<i>Zanthoxylum armatum</i> var. <i>subtrifoliatum</i>	VU	VU	
77	アオイ	シナノキ	<i>Tilia japonica</i>	NT	NT(EN)	
78	オオバヤドリギ	マツグミ	<i>Taxillus kaempferi</i>	NT	NT	
79	タデ	サクラタデ	<i>Persicaria odorata</i> subsp. <i>conspicua</i>	VU	VU	
80	ナデシコ	カワラナデシコ	<i>Dianthus superbus</i> var. <i>longicalycinus</i>	EN	EN	
81		ナンバンハコベ	<i>Silene baccifera</i> var. <i>japonica</i>	NT	NT	
82		フシグロセンノウ	<i>Silene miqueliana</i>	CR	EN	
83	ヒユ	ヤナギイノコツチ	<i>Achyranthes longifolia</i>	EN	EN	
84	ヤマゴボウ	マルミノヤマゴボウ	<i>Phytolacca japonica</i>	VU		
85	イワウメ	アカバナヒメイワカガミ	<i>Schizocodon ilicifolius</i> var. <i>australis</i>	VU	VU	
86		コイウチウ	<i>Shortia uniflora</i> var. <i>kantoensis</i>	NT	NT	
87	ツツジ	ウメガサソウ	<i>Chimaphila japonica</i>	VU	NT	
88		ベニドウダン(チチブドウダン)	<i>Enkianthus cernuus</i> f. <i>rubens</i>	VU	VU	
89		ギンリョウソウモドキ(アキノギンリョウソウ)	<i>Monotropa uniflora</i>	VU	VU	
90		マルバノイチヤクソウ	<i>Pyrola nephrophylla</i>	VU	VU	
91		シロヤシオ	<i>Rhododendron quinquefolium</i>	VU	VU	
92	アカネ	アリドオシ	<i>Damnacanthus indicus</i> var. <i>indicus</i>	VU		
93		キヌタソウ	<i>Galium kinuta</i>	NT	NT(EN)	
94		ツルアリドオシ	<i>Mitchella undulata</i>	NT	NT	
95		イナモリソウ	<i>Pseudoxis depressa</i>	DD	DD(VU)	
96	リンドウ	リンドウ	<i>Gentiana scabra</i> var. <i>buergeri</i>	NT	NT	
97		アケボノソウ	<i>Swertia bimaculata</i>		EN	
98		ゼンブリ	<i>Swertia japonica</i>	NT	VU	
99		ツルリンドウ	<i>Tripterispermum japonicum</i>		(NT)	
100	キョウチクトウ	スズサイコ	<i>Vincetoxicum pycnostelma</i>	EN	EN	NT
101		ジョウシュウカモメツル	<i>Vincetoxicum sublancoelatum</i> var. <i>auriculatum</i>	DD	DD(EN)	
102	ムラサキ	ヤマルリソウ	<i>Nihon japonicum</i>		(NT)	
103	ナス	イガホオズキ	<i>Physalisstrum echinatum</i>	NT	NT(VU)	
104		アオホオズキ ※	<i>Physalisstrum japonicum</i>	CR	CR	VU
105	ゴマノハグサ	フジウツギ	<i>Buddleja japonica</i>	NT	NT	
106		サツキヒナノウスツボ	<i>Scrophularia musashiensis</i>	VU	VU	
107	キツネノマゴ	ハグロソウ	<i>Peristrophe japonica</i> var. <i>subrotunda</i>		(NT)	
108	シソ	オウギカスラ	<i>Ajuga japonica</i>	VU	VU(NT)	
109		ハッカ	<i>Mentha canadensis</i>	VU	VU	
110		オカタツナミソウ	<i>Scutellaria brachyspica</i>	NT	NT	
111		ミヤマナミキ	<i>Scutellaria shikokiana</i>	EN	EN	
112		カリガネソウ	<i>Tripura divaricata</i>	CR	CR	

No.	科名	和名	学名	ランク		
				市	東京都	環境省
113	ハエドクソウ	ミソホオズキ	<i>Erythranthe inflata</i>		(NT)	
114	ハマウツボ	ヤマウツボ	<i>Lathraea japonica</i>	VU	VU	
115		クチナシグサ	<i>Monochasma shearerii</i>	VU	VU	
116		キヨスミウツボ	<i>Phacellanthus tubiflorus</i>	CR	CR	
117		コシオガマ	<i>Phtheirospermum japonicum</i>	VU	VU	
118	キキョウ	ソバナ	<i>Adenophora remotiflora</i>	NT	NT	
119		キキョウ	<i>Platyodon grandiflorus</i>	CR	CR	NT
120	キク	オケラ	<i>Atractylodes ovata</i>	NT	NT	
121		タカアザミ	<i>Cirsium pendulum</i>	VU	VU	
122		ミヤコアザミ	<i>Saussurea maximowiczii</i>	CR	CR	
123		シロバナタンポポ	<i>Taraxacum albiclum</i>	NT		
124	ガマズミ	レンブクソウ	<i>Adoxa moschatellina</i>	EN	EN(VU)	
125	スイカズラ	オミナエシ	<i>Patrinia scabiosifolia</i>	EN	EN	
126		カリヨセウツギ(ニシキビロードウツギ)	<i>Weigela karyosensis</i>	EN	EN	

☆ ※は平成25年以前の確認情報

☆ 自生地に大岳サントリーの森（檜原村）を含む

☆ ランクの参照

あきる野市版レッドリスト / 東京都レッドリスト（本土部）2020年版西多摩・本土部ランク（西多摩と本土部が異なる場合（）は本土部ランク） / 環境省レッドリスト2020

○ 確認した植物の画像（一部）



メヤブソテツ



コウホネ



キバナノアマナ



ベニシュスラン



ジガバチソウ



オオナルコユリ



ヤマブキソウ



ルイヨウボタン



アズマイチゲ



エビガライチゴ



イイギリ



ヒシ



ウシタキソウ



シナノキ



ナンバンハコベ



コイワウチワ



マルバノイチヤクソウ



イナモリソウ



アケボノソウ

(土砂崩れにより2013年以降見られず)



キヨスミウツボ



コシオガマ



レンブクソウ

○ 協働の森づくり事業で貴重植物の保護

地域が主体となって実施する森づくり事業が行われている場所に貴重植物を発見した際は、地域の方に報告し、協働で保護していただいています。



## 5 どんぐり結実状況調査（堅果類豊凶調査）（加瀬澤）

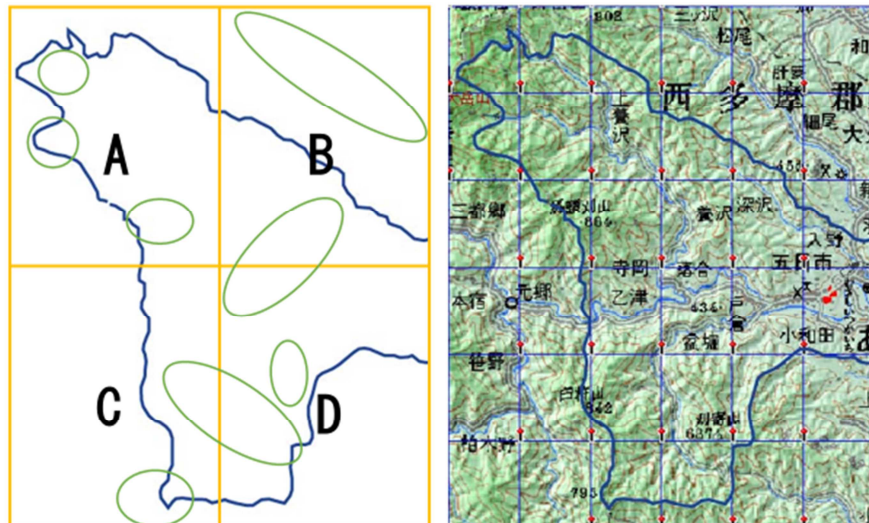
この調査は、平成25年度から実施しています。先にも述べたように、多くの野生動物の食物となるブナ科どんぐりの結実状況を調査し、秋期にツキノワグマなどの野生動物が人里に下りてくる可能性の大小を見極め、注意喚起に役立てています。

調査の結果は、東京都や自治会に報告するとともに「森林レンジャーあきる野新聞」を通して広く発信しています。

なお、日本全国の「堅果類の結実状況」は、環境省のホームページで公開されています。

### ○ 調査地（令和元年度から4エリアに変更）

市の西部を4つのエリアに分け、その中でもクマの痕跡を確認していて、ブナ科堅果がまとまって生育している範囲。 ※調査地の一部に日の出町と檜原村を含む



### ○ 調査時期

8月中旬から9月上旬まで。

### ○ 調査方法

以下のとおりレベルを定めて双眼鏡を用いて判定し、エリアごと・樹種ごとの結実状況を明らかにします。

レベル	評価
5 ↑	豊作 樹冠全体に密に結実
	並～豊作 豊作と並作の間
	並作 樹冠全体に疎に結実又一部で密に結実
↓	不～並作 並作と不作の間
	不作 まばらに結実
0	凶作 実は見られない

○ 調査結果

〈エリア別樹種ごと〉

ブナは A エリアに数本確認しているのみです。ミズナラは、B エリアでの分布を確認していません。

令和元年	樹種\エリア	A	B	C	D
	ブナ	凶作	-	-	-
	ミズナラ	並作	-	並作	不~並作
	ヤマグリ	不作	不作	不作	不~並作
	コナラ	不作	不~並作	不~並作	不~並作
令和2年	樹種\エリア	A	B	C	D
	ブナ	並作	-	-	-
	ミズナラ	並~豊作	-	並~豊作	不~並作
	ヤマグリ	並作	並作	不~並作	不~並作
	コナラ	並~豊作	並~豊作	豊作	並~豊作
令和3年	樹種\エリア	A	B	C	D
	ブナ	不作	-	-	-
	ミズナラ	並~豊作	-	並作	不作
	ヤマグリ	不~並作	不~並作	不作	不~並作
	コナラ	不~並作	並作	不~並作	不~並作

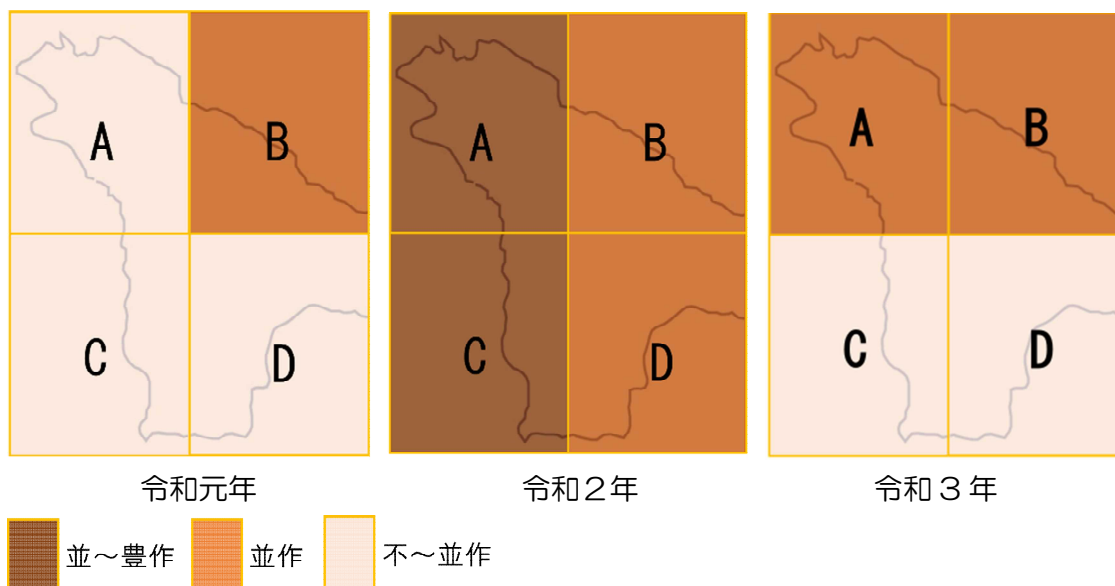
〈樹種ごと〉

・あきる野市

・檜原村

樹種	令和元年	令和2年	令和3年	樹種	令和元年	令和2年	令和3年
ブナ	凶作	並作	不作	ブナ	未調査	豊作	凶作
ミズナラ	並作	並~豊作	並作	ミズナラ	並~豊作	不~並作	並~豊作
ヤマグリ	不作	不~並作	不~並作	ヤマグリ	凶作	並作	不~並作
コナラ	不~並作	並~豊作	不~並作	コナラ	並作	並~豊作	並作

〈全樹種の結実状況〉

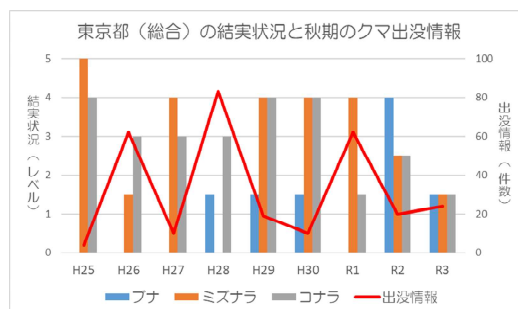
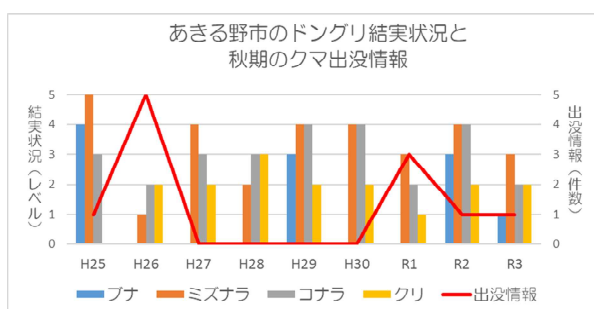


○ 結実状況とクマ出没件数

	あきる野市着果状況				市内のクマ出没 件数(9~11月)	東京都(総合)着果状況			東京都のクマ出没 件数(9~11月)
	フナ	ミスナラ	ヤマグリ	コナラ		フナ	ミスナラ	コナラ	
平成25年	並~豊作	豊作	—	並作	1	不作	豊作	並~豊作	4
平成26年	凶作	不作	不~並作	不~並作	5	凶作	凶~並作	並作	62
平成27年	凶作	並~豊作	不~並作	並作	0	凶作	並~豊作	並作	10
平成28年	凶作	不~並作	並作	並作	0	凶~並作	凶作	並作	83
平成29年	並作	並~豊作	不~並作	並~豊作	0	凶~並作	並~豊作	並~豊作	19
平成30年	凶作	並~豊作	不~並作	並~豊作	0	凶~並作	並~豊作	並~豊作	10
令和元年	凶作	並作	不作	不~並作	3	凶作	並~豊作	凶~並作	62
令和2年	並作	並~豊作	不~並作	並~豊作	1	並~豊作	凶~豊作	凶~豊作	22
令和3年	不作	並作	不~並作	不~並作	1	凶~並作	凶~並作	凶~並作	24

※ 「—」は未調査

※ ツキノワグマらしき動物（カモシカ、イノシシなどの可能性あり）と山林内の目撃情報を含んだ件数となっています。ただし、市内の目撃情報については人家周辺のみとしています。



※ 結実状況の値 5…豊作、4…並~豊作、3…並作、2…不~並作、1…不作、0…凶作（凶~豊作は2、凶~並作は1.5とした）

特記事項)

東京都のクマの捕獲件数は、平成25年から30年までは年間で0から4件でしたが、令和元年には年間で14件、9月から11月の間には6件、令和2年は年間で11件、9月から11月の間には2件、令和3年は年間で5件、9月から11月の間には0件となっています。

○ 注意喚起

秋期の野生動物による人への危害や農作物等の被害を防ぐためには、ミズナラとコナラのどんぐりが利用され始める9月から11月頃までは、野生動物を人里に誘引する可能性のある「放置果樹、廃棄農作物、生ごみ、餌付け」などを取り除くこと、また「森と人里の間のやぶの刈払い、電気柵の設置、山歩きの準備（クマ鈴の携帯）」などが特に必要です。

人里に野生動物を寄せ付けない・人と野生動物が接触しないために必要なことを地域住民や観光客に周知し、クマの行動域を広げないことが地域住民の生活を守ることもなります。

こうした地域づくりは、生物多様性を推進する本市の取組の一つとして重要だと考えます。そのため、調査結果を自治会に報告するとともに、地域の掲示板にコレンジャーが作成した注意喚起ポスターを掲出していただいています（写真は令和元年夏のもの）。





東京都あきる野市